

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	佐賀大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	サガダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	九州地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	実践インターンシップ
	学部・研究科等名	経済学部
	担当教職員名・役職	平地一郎教授
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	14
	受入企業等数	2
	受入企業等名	鳥栖市役所Aコープ佐賀
インターンシップの分類	10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	各企業・自治体から出された課題について、インターンシップ期間中の業務の説明・従事を踏まえ、最終日には学生自らが考えた解決策を報告し、アドバイスを受ける。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	経済学部専門科目の一つである実践科目として位置付け、参加期間が原則5日以上10日未満を1単位としている。課題解決型を中心に実際の就業を経験することを通して、仕事の仕組みを理解し、社会人となっていく心構えを養うことを目的としている。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている 4.その他
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	同窓会交流会の中で、卒業生に対する報告及び意見交換を行っている。
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	①「現代の経営」及びビジネスマナー講座の受講②受け入れ先企業・団体による課題の提示と事前学習
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	①学生による報告書の提出と事後学習②同窓会交流会での発表及び卒業生との意見交換

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	実習期間中に担当者(学部就職委員)が企業・団体を訪問する。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生に対しては事前に実施計画表を提示し、事後には実施報告書を提出させている。また、企業からは学生評価表に記入頂き、それらを踏まえて、成績評価は学部就職委員会において行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実施期間(5日)は、受け入れ先企業・自治体の業務の都合を踏まえたうえで、さらに学業に支障のないことも考慮して夏季休業期間中(8月下旬)に設定している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップを実施するにあたり、受け入れ先との間に協定書を作成している。それを踏まえ、実習内容等は双方の意見調整を行い決定している。また、学生に対する評価は受け入れ先企業・自治体が行い、その上で学部就職委員会が成績評価を行っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://syllabus.sc.admin.saga-u.ac.jp/ext_syllabus/syllabusSearchDirect.do?nologin=on
問い合わせ先	大学等名	佐賀大学
	担当部署名	佐賀大学学務部教務課
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	0952-28-8417
	メールアドレス	keikyo@mail.admin.saga-u.ac.jp